



# はるあもりぞい

●医療法人創和会広報誌はるあもりぞい / 発行 医療法人創和会 理事長 重井文博  
令和4年12月1日発行

## 医療法人三祥会(幸町記念病院)の運営の承継について

理事長 重井 文博

幸町記念病院とその院長である宮崎雅史先生は、真摯な姿勢で透析患者さんの治療に取り組んでおられ、創和会にとって最も身近な医療機関の1つです。その宮崎先生から、自身の後継者のことを考え「創和会に将来の運営を任せられないか」との話をいただきました。

早島町に新たなクリニックの開業計画を立ち上げたばかりの時でもあり、運営を承継することによって悩みましたが、有元院長・真鍋院長の「宮崎先生が困っているならお助けしましょう」の言葉を受け、宮崎先生との協議を重ねてきました。

その結果、11月1日に医療法人三祥会を創和会グループの一員とする最終合意をするに至りました。これから数年間、宮崎先生には引き続き医療法人三祥会の理事長、幸町記念病院の院長職をお願いします。また、将来的にスタッフ間での情報交換や勉強を共にし、互いが良い所を取り入れることで創和会各施設の安定、については患者さん、スタッフの安心安定に繋げていきたいと考えています。

以下は11月22日(火)に、宮崎先生と私が幸町記念病院の職員の皆さんに今後のこととお話した際の写真と内容です。



▲幸町記念病院にて、宮崎先生と共に職員の皆さんに向けての説明会を開催

### 幸町記念病院

住 所：岡山市北区大元駅前3番57号

開 設 時 期：1993年(平成5年)8月  
2004年(平成16年)11月新築移転

許可入院病床数：35床(同時透析 80ベッド)

在 籍 職 員 数：医師(常勤3人 非常勤8人)、看護師25人、准看護師2人、看護助手15人、臨床工学技士12人、臨床検査技師2人、管理栄養士2人、薬剤師1人、調理師6人、事務9人、用務員1人(2022年11月現在)

透 析 患 者 数：約210人

(参考) しげい病院 約330人

重井医学研究所附属病院 約400人

## 宮崎先生ご挨拶

本日はお忙しいところ集まっていたいただきありがとうございます。日頃は当院の業務にご尽力くださり、心より感謝申し上げます。

8日に行われた病院連絡会でお知らせしたとおり、このたび医療法人創和会と私ども医療法人三祥会とはグループ化することとなり、先だって11月1日に基本合意書を取り交わしました。本日はお越しいただいております創和会理事長の重井文博先生にはこの後ご挨拶をいただくこととなっております。



振り返ってみますと、幸町記念病院は平成5年に前身である幸町病院を承継する形で開業いたしました。その後平成16年に現在の大元駅前に新築移転し、平成19年には医療法人三祥会となって、「慢性腎不全医療を通じて患者家族ならびに病院職員の幸福の増進に永続的に貢献する」という理念を掲げて経営基盤をより安定的なものとしてまいりました。「笑顔、挨拶、思いやり」という行動規範のもと、職員の皆さんには多大なるご貢献をいただいておりますことに対し改めてお礼申し上げます。

当院の前身である幸町病院、そしてこれを承継した私ども幸町記念病院はいずれも個人病院でした。これを医療法人として経営基盤をより安定的なものとし、さらに平成22年には持ち分なしの医療法人に移行いたしました。これは、持ち分ありのままですと私に万一のことがあった場合大きくなった病院の資産が相続の対象となり、病院の経営に大きな影響が生ずることとなります。これを防ぐことが持ち分なしの医療法人に移行した目的でした。

病院の後継者という点については、当院が開業した時点から常に重大な課題として私の頭を離れることはなかったのでありますが、目前に迫った医師の働き方改革の実行期限、診療報酬の改定など昨今の病院経営環境の変化に加えて、常勤医師の減少やコロナ禍という経験したことのない病院経営上のストレスによって、病院の存続と承継、後継者の決定という問題が非常に大きな重みをもってまいりました。患者と職員の皆さんにご迷惑をかけることのないようにするにはどうしたらよいか、何らかの回答を出さねばならないと考えたわけです。

そこでこのたび病院の存続と承継を確実なものとするため、医療法人のグループ化を通じて運営権の承継を医療法人創和会にお願いすることといたしました。当面業務内容や雇用条件は今まで通りで変化はありません。

今回のグループ化について重井理事長は、事の重大さ、責任の重さに悩まれたと伺っておりますが、最終的には快く引き受けていただきました。この場を借りまして重井先生に対し深く感謝申し上げます。

ご承知の通り創和会は県下最大の透析施設であるしげい病院、重井医学研究所附属病院をはじめ、2つの訪問看護ステーションや、植物園、昆虫館など多数の施設を擁する規模の大きな医療法人です。昨年からは、岡山県医師会透析医部会の要請を受けて院長が病気療養中の新見クリニックを積極的に支援されるなど、へき地医療にも多大な貢献をしております。また重井理事長が腎臓リハビリテーション学会学術集会の副会長を2回務められるなど、幅広く事業を展開している医療法人です。

当院とのつながりを見てみますと、ご存じのように重井医学研究所附属病院、しげい病院とは年2回のOF談話会を通じて約15年間にわたり交流を続けてまいりました。OF談話会はコロナ禍もあって立ち消えとなってしまいましたが、有元院長とは岡山県医師会透析医部会等を通じて親しくお付き合いいただいているところであります。

今後創和会グループの一員として人的交流や研修などにより診療レベルの向上を図ることができればと考えております。引き続き職員の皆さんのお力が必要であることは言うまでもありません。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

## 重井理事長から幸町記念病院職員の皆さんへの挨拶

医療法人創和会の理事長をしております重井です。この度、医療法人三祥会の理事をお引き受けることになりました。宮崎先生には、創和会の理事を引き受けていただきました。

今回、医療法人創和会の理事と医療法人三祥会の理事がほぼ同じメンバーになり、同じグループとして運営を考えることになりました。職員の皆さんには、突然のことで驚かれたと思いますが、宮崎先生が医療法人三祥会理事長、幸町記念病院院長であることは変わりません。また、先ほど宮崎先生のお話にありましたように職員の皆さんの処遇も変わりませんので安心してください。

将来的には、お互いに情報交換や勉強会を開催するなどして、透析医療の質の向上に努めて参りたいと考えています。

## 両備 櫻園記念財団より 研究助成を受賞しました！

重井医学研究所 細胞制御部門 主任研究員 古家野 孝行



この度、公益財団法人両備櫻園記念財団より生物学研究奨励賞を受賞しました。重井理事長、福島所長はじめ創和会の皆さまの日頃のご支援の賜物と深謝いたします。受賞した研究課題は「多発性嚢胞腎における進化的に保存された分子 Pkd2 の機能解明」です。簡単に研究内容を紹介したいと思います。

現在、私は常染色体顕性多発性嚢胞腎（以下、ADPKD）の発症機序の研究に取り組んでいます。ADPKD 患者は PKD1 もしくは PKD2 遺伝子に変異があり家族遺伝性です。私は PKD2 遺伝子の方に注目しています。それは、PKD2 遺伝子は、酵母のような細菌から私たち人間まで多くの生物が持っているからです。専門的には“保存されている”と言います。最近の私たちの研究から、ヒト

の PKD2 遺伝子が酵母の中でも正常に働くことを明らかにしました（論文投稿中）。つまり、ヒトや実験動物を研究対象としなくても、酵母を使って簡単にヒトの PKD2 遺伝子について調べることができます。ADPKD 患者において、遺伝子に変異があることはわかっていますが、それらの変異によって、腎臓などの組織、また、それらを構成する細胞にどのような影響があるかは未知です。そもそも、PKD2 遺伝子産物である Pkd2 分子の生体内での働きについても議論されています。それらがわかれば、新規治療法につながるヒントを得ることができます。

この研究助成を契機に、そんな未知の領域の解明に臨んでいきたいと思っています。

## ポールを使用した歩行トレーニングに関する システマティックレビュー論文が 国際誌「PM&R」に掲載されました

しげい病院 リハビリテーション部 小野 晃路



この度、ポールを使用した歩行トレーニングに関するシステマティックレビュー論文が国際誌「PM&R」に掲載されました。論文のタイトルは「The effects of walking training with poles on walking ability: A systematic review and meta-analysis of randomized controlled trials」です。

システマティックレビューとは包括的に研究論文の検索を行い、一定の基準で選定された論文を一定の基準で評価、分析する研究のことです。

今回、ポールを使用した歩行トレーニングが歩行能力に与える効果を検討しているこれまでの論文を包括的に検索し、そのエビデンスレベルの確立や有効な疾患の特定を行いました。その結果、いくつかの疾患を有する患者さんの歩行能力に対して、ポールを使用した歩行トレーニングの効果がランダム化比較試験で検討されていました。特

にパーキンソン病患者さんの歩行速度を改善させることが、中等度のエビデンスレベルで支持されました。

しげい病院でも、様々な患者さんにノルディックウォーキングやポールウォーキングを運動療法の一環として取り入れており、今回の結果を臨床現場でも活用していきたいと思っています。また、今後はポールを使用した歩行トレーニングの効果を検討していきたいと考えています。

研究にご協力いただいている患者さんやリハビリテーション部のスタッフの皆さん、ご指導いただいている先生方に改めて感謝申し上げます。ポールを使用した歩行トレーニングに限らず、患者さんにとって有益な研究成果を発信し続けながら、臨床・研究に精進していきたいと思っています。

## 夜間 想定避難訓練を実施しました

研究所附属病院 看護部 入院棟 3階 家田 凜  
研究所附属病院 看護部 入院棟 3階 矢吹 小百合

11月8日（火）、入院棟3階で夜間想定避難訓練が行われました。

私たちは、それぞれ火災発見から避難誘導の指示を行いました。本番に備え、10月後半から7回練習を行いました。各部署から応援看護師が2名ずつ集まり、練習を始めましたが、最初はどうかかわからず、声も小さく、恥ずかしさもあるのか遠慮がちに行動していました。

しかし、数を重ね、担架やイーバックチェアの使い方にも慣れてきたこと、メンバーのコミュニケーションがとれるようになったことで、次第に大きな声で声掛けができるようになりました。私は指示をするにあたり、メンバーから「了解!!」と返答が返ってくることに安心して次の指示に移ることができました。

昨年と同様（訓練場所は別の病棟）避難させる患者さんの人数が20名と多く、また輸液ポンプや呼吸器を装着している患者さんを対象としたこと、担架やイーバックチェアを使用すること等の要件が重なり難易度の高い訓練でした。訓練当日はとても緊張し、最後の人数確認では残念ながら認知症患者さん役の職員を1人取り残してしまい、急いでスタッフが駆け付け、無事全員避難することができました。メンバー全員で協力し合った結果、避難が17分28秒で完了しました。

終わってみると、反省点はたくさんありますが、メンバーみんなの一体感を感じ、とても有意義な訓練になったと実感しました。

実際火災が起きた時に今回の訓練を活かしたいです。



▲患者を一時退避



▲応援者に指示をしている様子



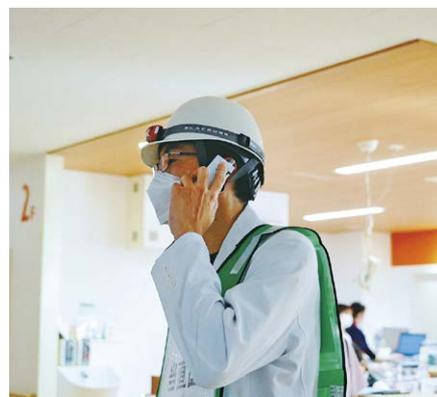
▲避難状況の確認



▲イーバックチェアで患者を運んでいる様子



▲患者を担架で移送中



▲避難完了の確認

## 2023年度の医療安全標語が決まりました

しげい病院 リスクマネジメント部会 芳本 徹（創和会本部 係長）

今年もしげい病院では、11月20日～26日の医療安全推進週間（2001年に厚生労働省が医療安全対策の一環として設定）に合わせて、来年のカレンダーを彩る医療安全標語を選定しました。「医療安全」をテーマとした標語を各部署から3題選出してもらい、60題を超える力作揃いの中リスクマネジメント部会で投票し、最終的に13題（院長賞1題・優秀賞12題）を決定しました。

今回、院長賞に選ばれた標語は、リハビリテーション部の「言い合える 関係づくりで 事故防ぐ」です。ちなみに昨年の院長賞は、IT推進・情報管理室の「迷ったら かっこつけずに 聞く勇氣」でした。今後は、カレンダー掲載のために選ばれた部署の写真撮影を行い、賞品が進呈されます。

毎年の医療安全標語投票が、院内でのインシデ

ント・アクシデント発生への減少につながることを願っています。



▲今年の院長賞はリハビリテーション部!!

### 2023年度医療安全標語投票結果

#### 院長賞

リハビリテーション部  
言い合える 関係づくりで 事故防ぐ

本館 4F 南	ありがとう 一言かけて 上げるチーム力
医療安全管理室	見たつもり やったつもりが 事故になる
臨床工学部	マスクでも 笑顔で目を見て 声かけ合おう
検査健診部	思い込み あなたの視野を 狭くする
放射線部	確認作業は厳しい目 患者さんには優しい目
地域連携部	あいまいな 伝言ゲーム 事故の元
訪問看護・居宅	先の危険 小さな気づきの 積み重ね
本館 4F 北	見逃さない Wチェックで 事故防止
薬剤部	誰にでも 聞ける勇気が 事故防ぐ
本館 3F	慣れるな 省くな 気を抜くな
南館 3F	グッドジョブ 増えた数だけ 笑顔増す
通所・訪問リハビリテーション部	いつもと違う 感覚あれば すぐ相談

## 院内サインシステムをリニューアル中!!

研究所附属病院 事務部 企画課 栗原 玲音

住宅が何十年か経つとリフォームをするように、院内の看板や内装も時代の移り変わりに対応しなければなりません。研究所附属病院の院内サインシステムは何十年も変わらず使用されている箇所や、改築の際に新規に設置した看板もあるため統一感がなく、度々来院される患者さんが迷われている様子が見受けられました。

そこでこの度、外来フロアのサインシステムのリニューアルを行うことになりました。大理石を基調としたモダンなイメージと上手く調和し、患者さんが院内で迷わず、職員も誘導しやすい院内サインシステムをデザイン会社と協力し考案しました。

外来受付・検査受付などの各受付、誘導サイン等を第1弾として、9月中旬に施工しました。現在正面玄関や総合案内、外来のインテリアなどの話

し合いを行っております。

患者さんが過ごしやすい、職員の方々も働いて気分が上がるような空間デザインができるようデザイン会社に要望を伝えていきますので、完成を楽しみにしていただけますと幸いです。



▲わかやすいサイン案内にリニューアル

## ハロウィンパーティー

～合言葉は「トリック・オア・トリート!!」～

研究所附属病院 事務部 係長 吉田 伊津枝

10月31日はハロウィンです!!ということは、院内保育所 みらくるのかわいいモンスターたちが病院にやって来る日です。

今年もコロナの感染対策のために玄関先でのお披露目となりましたが、来院された患者さんからは「かわいいね!」の連呼で、皆さん笑顔で院内に入って行かれました。

「トリック・オア・トリート!!お菓子くれないと

いたずらしちゃうぞ~!」の合言葉でお待ちかねのお菓子ももらって、ちびっこモンスターたちも満面の笑みでした。

みんなお菓子ももらう時は大きな声で「ありがとう!」とお辞儀もできて「はあ~、かわいい♡♡」とすっかり私たちのハートはちびっこモンスターたちに奪われてしまいました。



▲仮装したちびっこモンスターたちに癒やされました♪

## 3年ぶりの岡山路

研究所附属病院 臨床工学部 副主任 吉武 勇介

11月13日（日）、3年ぶりのおかやまマラソンが開催されました。

晴れの国岡山にも関わらず、天候はあいにくの雨模様。しかし、雨も楽しもうと8時45分待ちに待った号砲が鳴らされました。私は過去の経験から、序盤はペースを抑えて走り出しました。10.8km地点、魅力の一つでもあるおもてなし給食が登場！なんとシャインマスカットが準備されていました!! 感染拡大防止の為、給食は全て個包装されており、雨で濡れた手で開封するのは至難の業でした。

雨にも関わらず沿道の応援が途切れることなく、声援を力に変えて走ることができました。私は病院マラソン部Tシャツを着ていたため、「重井さん、がんばれー」と声を掛けてもらえました。30km過ぎにラーメンを食べ、エネルギーチャージ！しかし、徐々に足が重くなり、ペースダウン… 前はここで歩いてしまいましたが、今回は足を

止めまいと一歩一歩走り続けました。4時間のペースランナーが迫る中、力を振り絞り3時間59分12秒でゴール。ヘトヘトになりながらもおかやまマラソンを楽しむことができました。

最後に、応援してくれた沿道の方々、運営スタッフ・ボランティアの皆さま、そして練習に快く送り出してくれた家族に感謝を伝えたいと思います。



## 岡山県病院協会 優良職員表彰おめでとうございます



## 催し物案内

重井薬用植物園

植物園を楽しむ会  
「黄落の里山を楽しむ」  
日時：12月11日（日）  
10：00～12：00  
会場：重井薬用植物園

## 編集後記

●実りの秋ですね。実家では栗や銀杏（ぎんなん）が落ちまくり、車で踏み潰さないように毎朝拾うのが日課でした。しかし落ちていく銀杏の実ってめっちゃ臭いんですよね。これを拾ってしばらく放置すると周りの果実部分が腐り、腐った実をかぶれないように完全防備の長靴で踏み潰しながら洗い流すと、硬い殻の銀杏が現れます。あとは天日で乾かせばあのくさ～い匂いもスッキリ。紙袋に銀杏を入れて電子レンジでパンパンはじかせると美味しいいただけますが、やり過ぎると実もろともはじけ飛ぶのでご注意ください。ちなみに栗は冷蔵庫で1か月くらい寝かせると甘味が増して美味しいですよ。（OM）

●ベストセラー作家の星渉さんが岡山に来る！と友人に誘ってもらい講演会に行ってきました。私は誘われるまで星さんをまったく知らず、事前に本もほぼ読まず講演会に行ったのですが、1時間の講演がまるで10分、20分ほどに感じられるとても楽しい時間が過ごせました。講演では「モチベーション」×「タイムマネジメント」の話がされました。印象に残った話を少しシェアさせていただきます。1日を5段階評価で評価するのなら、どんな5段階に分けますか？私の分け方は【出来た・少し出来た・あまり出来なかった・出来なかった・全然出来なかった】でした。星さんの分け方は【すごくよく出来た・よく出来た・まあまあ出来た・少し出来た・出来た】でした。“じゃあ出来なかった時はどう分けたいの？”って思いますよね。答えは、しないという選択が出来た。「出来なかったということは、他のことが出来たということだから！」とおっしゃっていました。ゴロゴロしても、1日中漫画を読んでも、休むことが出来た。出来なかったとモチベーションを下げるより、出来たと言うことで脳を喜ばせてあげると言う考え方が素晴らしいです。そんな考え方をしたことがあったので、目から鱗でした。色々な考え方があって面白いなと思った1時間でした。（IY）

## 「寝酒の真実」

ジャパン EAP システムズ EAP 相談室

### 【1】お酒を飲むとよく眠れる？

「お酒を飲むとよく眠れる」と、私たちがよく耳にします。また、「アルコールは、人類が手に入れた最初の睡眠薬」との言葉もあるように、実際に眠れなくて困った時、また日常的に寝つきをよくするためにお酒を飲んでいる方は少なくないのかもしれませんが、それでは、「お酒を飲むとよく眠れる」ということは本当なのでしょう。



### 【2】寝酒のリスク

アルコールには、緊張をほぐし気分転換するリラックス効果や、脳の働きを麻痺させる催眠作用もあるため、寝る前にお酒を飲むと寝つきがよくなる、という効果は確かにあるようです。ただ、皆さまはお酒を飲みすぎた日の朝方早く目が覚めてしまった、または眠りが浅く翌日に疲れが残った、といった経験はありませんか？

寝酒で寝つきはよくなっても、眠っている間に体はアルコールを分解しようと働き続け、特に肝臓にとっては、眠っているにも関わらず労力を要する仕事をしていることになり、深い眠りの妨げとなります。そして、肝臓がやっとアルコールを分解した後、眠りの質はさらに悪くなるといわれているのです。

このため、寝酒は夜中や早朝に目が覚めてしまうなどの、不安定な睡眠を招くことにつながってしまいます。また、寝酒を毎日続けることで、「お酒を飲まないとなれない」という状態になってしまうことにも注意が必要です。「寝酒は依存症への近道」ともいわれています。

### 【3】ゆっくりと眠るために

深い眠りのためには、眠る前にリラックスした時間をもつことが有効といわれています。好きな音楽を聴いたり、ゆっくりとお風呂に入ったり、ご自身に合ったリラックス方法をもつことが大切です。

皆さまは、眠れない時、どのように対処していますか？お酒に頼ってはいませんか？

EAPでは、皆さまがより快適な睡眠を得られるよう、お一人おひとりにあったサポートを考えさせていただきます。お気軽にご相談ください。

※医療法人創和会は職員の心の相談窓口として、ジャパン EAP システムズと契約しています。相談はお気軽に、電話やメールで。



生きることの尊さと健康であることの幸せを、すべての人と共に

### しげい病院

〒710-0051 倉敷市幸町2-30  
TEL086(422)3655 FAX086(421)1991

### 岡山しげい訪問看護ステーション

岡山しげい居宅介護支援事業所  
〒710-0202 岡山市南区山田2117  
TEL086(282)4300 FAX086(282)4301

### 重井医学研究所附属病院

〒707-0202 岡山市南区山田2117  
TEL086(282)5311 FAX086(282)5345

### 倉敷しげい訪問看護ステーション

倉敷しげい居宅介護支援事業所  
〒710-0051 倉敷市幸町2-30  
TEL086(422)8111 FAX086(421)1991

### 重井薬用植物園

〒710-0007 倉敷市浅原20  
TEL086(423)2396

### 重井医学研究所

〒707-0202 岡山市南区山田2117  
TEL086(282)3113 FAX086(282)3115

### 倉敷昆虫館

〒710-0051 倉敷市幸町2-30  
TEL086(422)8207